

吉備システムス・ペシヤル

初春狂言 福来る。

東西狂言会

令和8年

日時 1月8日 木

午後6時30分・開演 (午後5時30分開場)

岡山芸術創造劇場

会場 ハレノワ大劇場

主 催 RSK山陽放送

特別協賛 吉備システムグループ

後援 岡山市 岡山県郷土文化財団・岡山県公民館連合会
岡山県きもの連盟・山陽新聞社

◎解説 野村 萬斎

◎狂言

ふく 福の神

和泉流 野村 万作

す は じ か み

「酔 薑」

大蔵流 茂山千五郎

し ど う ぼ う が く

「止動方角」

和泉流 野村 萬斎



観賞料

未就学児はご入場
いただけません。

S席指定: 7,500円 (当日 7,800円) 自由席: 3,500円 (当日 3,800円)

RSK
RSK山陽放送

■お問い合わせ [平日10~17時]
RSK山陽放送 事業開発部
086-225-7300

チケットの
お求めは

岡山芸術創造劇場ボックスオフィス、岡山シンフォニーホールチケットセンター、ぎんざや、山陽新聞社サービスセンター
岡山県音楽文化協会 ●RSKチケット「アレチケ」 ●チケットぴあ Pコード 537-499 ●ローソンチケット Lコード 61613
●セブンチケット セブンコード 112-883 ●イープラス <http://eplus.jp/> ●田賀屋狂言会 (広坂 Tel:086-255-4101)

吉備システムス。ペシャル

東西狂言会 初春狂言 福来る。

■解説 《野村 萬斎》

狂言

ふく かみ

福の神

【福の神】 野村 万作

【参詣人】 野村 太一郎

【参詣人】 中村 修一

二人の男が毎年、大晦日恒例にしている福の神詣でへと出かける。神前に参拝し、年越しの豆をまいているところへ、明るい笑い声をあげて福の神が現れる。福の神は、熱心に参詣する男たちを幸せにしてやろうと思ひ現れたと言ひ…。とてもなごやかな雰囲気の中、狂言。豆まきは元々大晦日の追儺という行事に由来したもので、現在行なう節分の日は旧暦の大晦日にあたります。少しちやつかりしたところもある神様のようですが、言うことは当たり前だけれど大事なことは。参詣人と一緒に耳を傾けてみて下さい。



狂言

すはじ かみ

酢 薑

【酢売り】 茂山 千五郎

【薑売り】 茂山 茂

摂津の国の薑売りと和泉の国の酢売りが、都へ商売に行く途中に出会い、売り物の司を争い合います。まずは互いの由緒を語り合い、次に二人は秀句を言い合つて勝負をつけることにします。秀句とは洒落のことです。薑売りは薑が「辛い」ことから「カラ」の音を、酢売りは「ス」の音を強調して語ります。薑とは現在では生姜を指すことが多いが、昔は山椒のことを指しました。商売人らしく、それぞれの売物の言葉を織り混ぜて言い争います。



撮影：桂 秀也

狂言

しどうほうかく

止動方角

【太郎冠者】 野村 萬斎

【主】 野村 裕基

【伯父】 石田 幸雄

【馬】 飯田 豪

太郎冠者は茶くらべで見栄を張りたい主人に命じられ、伯父に茶と太刀と馬を借りに行くところが借りる馬には癖があり、後ろで咳をすると暴れたすという。無いよりはましと連れて帰るが、太郎冠者を待ちかねた主人は、労をねぎらうどころかいきなり遅いと叱りつける。腹を立てた太郎冠者は、さっそく主人を乗せた馬の後ろで咳をして…。

一頭の馬をめぐる、太郎冠者と主人が繰り広げる大活劇。中世のたくましい人間模様がつぶさに伝わってきます。



吉備システムグループ

吉備システム(株)

吉備ゴルフクラブ(株)

岡山債権回収(株)

ケイ・エス・エス(株)

鬼ノ城ゴルフ倶楽部(株)

岡山リゾート開発(株)